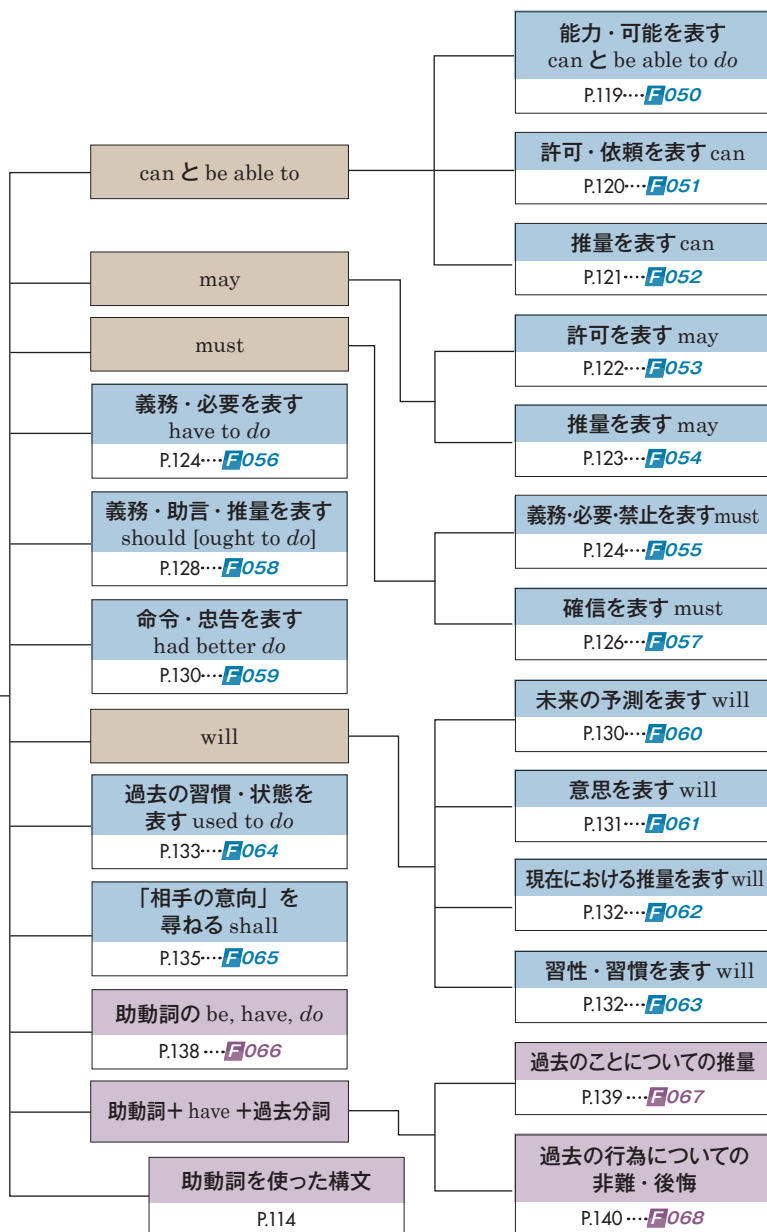


助動詞

助動詞





話し手の気持ちを表す助動詞

客観的な事実

He is a painter. (彼は画家です。)



助動詞の役割は何ですか。

助動詞を用いると話し手の気持ちや判断を表すことができます。He is a painter. という文は、「彼は画家である」という客観的な事実を表しています。これに may や must を加えてみると…



may だと「画家かもしれない」、must なら「画家に違いない」という意味になるんですね。

そうです。「～かもしれない」「～に違いない」などのように、助動詞を使って話し手の「気持ち」「思い」「判断」などを付け加えることができます。



そういえば、昨日、兄の本を汚してしまって、そのままこっそり元に戻しておいたんですけど…。He may be angry. (彼は怒っているかもしれない) ですね。

He must be angry. (彼は怒っているに違いない) だと思いますけど…。

